

「ハーモニカコンサート in 良城小」の開催

通信No.36でお知らせしたハーモニカコンサートを明日開催します。

中原中也の末の弟で、ハーモニカ奏者の伊藤拾郎さんの意思を受け継ぐ山口県ハーモニカクラブの方々によるコンサートです。

拾郎さんは、山口地方裁判所や民間企業に勤めた後、定年退職してから故郷である山口市、それもここ吉敷佐畑に転居されました。家は、給食室の向こう3軒目にあり、今は誰も住んでおられません、「伊藤拾郎」という表札がかかったままです。(拾郎さんは養子縁組をし、「伊藤」姓になりました。)

拾郎さんは、退職後からハーモニカを本格的に練習され、63歳の時に国際コンテストで優勝し、主に東京で演奏活動をされていました。その後、平成15年に亡くられています。

佐畑に来て25年間。それも、ほんの少し前までこの辺りにいらっしゃった拾郎さん。きっと本校の子ども達との接点もあったでしょう。ハーモニカの練習の音色を聞いた子どももいるに違いありません。

学校教育の場では、いつの日からか鍵盤ハーモニカに変わり、ハーモニカの音色は全く聴くことができなくなりましたが、私たちのような年配者にはその音色とハーモニカを咥えた口元の感覚はまだ残っています。

本校では、4年生のYKBで、毎年、上東の福田さんによるハーモニカの演奏を聴いています。先週の紙芝居でも聴くことができました。

懐かしいハーモニカの音色を拾郎さんの地元である良城小で子ども達に是非聴かせてたいという地元の方々の熱い願いを受けたいと思います。

紙芝居に来た児童にコンサートのことを話してみましたが、私もハーモニカを習い

たいという子がいました。これがきっかけになって、さらに交流が広がっていくといいですね。

第1回は、明日、水曜日の昼休み、1時15分頃から、本館第1音楽室で行います。

たくさん来ても困りますが、明日の朝、児童に話してみてください。昼休みなので、興味のある児童だけで結構です。今後、徐々に進めていきたいと思います。

吉敷にハーモニカの音色が広がっていったら素敵ですね。拾郎さんも中也もきっと喜んでくれると思います。

裏面に、拾郎さんに関する記事を掲載しておきますので、地元の学校の教員として目を通しておいてください。

また、詩人中原中也についても、児童に関心を持ってもらうため、竹田先生のお願いで、図書館に新しくコーナーを設定してもらいました。

中也関係の本は、児童向けの本がなかなかないので、結構難しい本ばかりですが、先生方も教材研究の参考にしてください。何と、「宮沢賢治と中原中也」という記事もありましたよ。

吉敷にはまだまだたくさんの素材があります。良城(吉敷)だからこそその教育を進めていくと、地元の方々の本校への信頼が一層厚くなります。

先生方も、是非、自ら、素材の発見、教材化にダイナミックチャレンジしてください。

